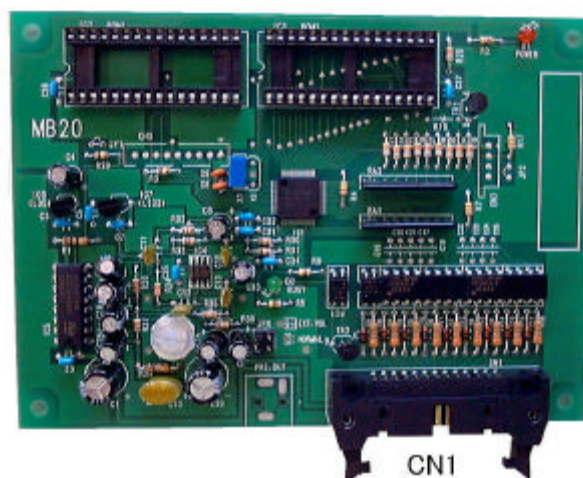


# MB20 音声ボード



## 1. 概要

MB20は機器への組込みに適した汎用音声ボードです。従来製品KEC630B / KV630Bと互換性があり、同じROMがそのまま使用できるほか、沖電気純正ツールあるいはその互換ツールで作成した他社製音声ボード用MSM6376 / MSM6650形式の音声ROMも使用できます。

## 2. 用途

- ・ 工場の音声アラーム盤、エレベータ / エスカレータなどの制御盤への組込み。
- ・ 遊戯施設や展示施設の音声ガイダンス装置などへの組込み。
- ・ ATM、計測器、特殊車両など音声ガイダンスが必要な装置への組込み。

## 3. 仕様

電源電圧	DC 12 V 標準 ( DC 9 ~ 16 V で使用可 )	
消費電流	0.05 A ( 待機時 ) / 0.25 A ( 音声出力時 )	
スピーカー出力	1.5 W ( 8 ) / 3 W ( 4 )	備考：電源=DC12V時
ライン出力	- 6 dBm ( 600 不平衡 )	
入力信号数	9 本 ( 無電圧接点 )	備考：フォトカプラ付
出力信号数	1 本 ( NPN オープンコレクタ )	備考：BUSY 信号用
DAコンバータ	12 ビット リニアPCM	
サンプリングレート	3.2 kHz ( 最大 )	
音声メモリー	4 Mビット EPROM × 2 ( 最大 )	
音声データ形式	ADPCM ( 沖電気MSM5205 / MSM6376 / MSM6650形式 ) リニアPCM、LOGPCM ( ITU-T/G.711 )	
動作温度範囲	- 20 °C ~ 85 °C	
ボード外形	140 × 100 mm	備考：厚み最大 18 mm
入出力コネクタ	山一電機 FAP-2601-1202-0BF ( 26極 )	

4. 接続

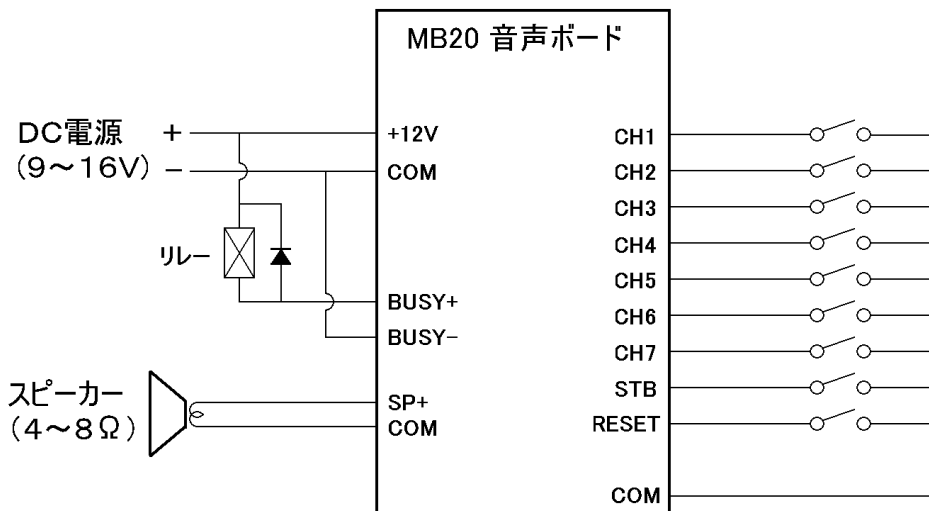
(1) 端子信号表 (同一信号名の端子は基板内部で相互接続されています)

ピン番号	信号名	備考	ピン番号	信号名	備考	
1	+12V	電源	2	+12V	電源	
3	CH1	音声起動入力1	4	COM	電源、起動入力、 スピーカー出力の コモン	
5	CH2	音声起動入力2	6	COM		
7	CH3	音声起動入力3	8	COM		
9	CH4	音声起動入力4	10	COM		
11	CH5	音声起動入力5	12	COM		
13	CH6	音声起動入力6	14	COM		
15	CH7	音声起動入力7	16	COM		
17	STB	ストロブ入力	18	COM		
19	RESET	リセット入力	20	BUSY-		ビジー出力
21	BUSY+	ビジー出力	22	VR1		外付VR端子1
23	VR3	外付VR端子3	24	VR2	外付VR端子2	
25	SP+	スピーカー出力	26	SP+	スピーカー出力	

(2) 信号線の説明

- ・ COM 電源、スピーカー、CH1~7、STB、RESETの共通グランド線です。
- ・ +12V 9~16Vの直流電源を供給してください。
- ・ SP+ スピーカー出力です。COMとの間にスピーカーを接続します。
- ・ CH1~7 再生する音声を指定する入力線です。無電圧接点を接続してください。
- ・ STB コード入力モードのストロブ入力です。
- ・ RESET 音声を即時中止するリセット信号です。
- ・ BUSY+ 音声出力中にONになるオープンコレクタ出力です。
- ・ BUSY- 音声出力中にONになるオープンコレクタ出力のエミッタ側です。
- ・ VR1~3 外部ボリュームを接続できます。

(3) 接続例



## 5. 機能仕様

基板上のジャンパーによって次のどちらかの動作モードが選択できます。

### (1) 個別入力モード (ジャンパーなし)

入力端子と音声メッセージが一对一に対応するモードです。この方式では音声メッセージは最大7つまで指定できます。

- ・ CH1に入力があるとCH1に対応した音声を出力します。
- ・ 音声出力中はSTOPとRESET以外の入力は受け付けません。
- ・ 音声終了時に入力が同時に複数の入力がある場合はCH番号の小さい入力が優先されます。

### (2) コード入力モード (ジャンパーあり)

バイナリコードとストロブ信号で音声メッセージを指定するモードです。この方式では音声メッセージは最大128種類まで指定できます。

- ・ ストロブ信号が立ち上がった時のCH1～7の各ビットで表されるバイナリコードに対応した音声を出力します。例えばCH1～7が順に1001000の時は音声番号9(09H)の音声、1010100の時は音声番号21(15H)の音声が出力されます。
- ・ 音声出力中はSTOPとRESET以外の入力は受け付けません。
- ・ 音声はストロブ信号の立ち上がりで起動されます。音声終了時にストロブ信号がONになったままの状態でも音声は繰返しません。

## 6. その他

- ・ スピーカーの音量は基板上的半固定ボリュームで調整することができます。
- ・ ライン出力の音量は固定となっており調整することはできません。
- ・ ナレーション録音からデータ加工、音声ROMの作成まで弊社で承ることが可能です。また、お客様がお持ちの音声をテープ等に録音してご支給頂ければその音声をROM化することもできます。その場合、DAT、MD、CDなどデジタル媒体でご支給頂くことをお勧めします。
- ・ お手持ちのMSM6376 / MSM6650形式のROMをご使用になる場合、事前に再生テストを行って頂くことをお勧めします。特に内蔵チャイム音やエコー再生など特殊な機能を使用している場合、完全に同一の聴感が得られない場合があります。
- ・ CPUによる制御を行っていますので、個別入力モード / コード入力モード以外の音声指定方式を別途費用で新たに作ることもできます。
- ・ 別途費用でボードとスイッチング電源等をケースに入れて出荷することもできます。
- ・ その他、特注加工、仕様変更など可能な限り対応いたしますのでご相談下さい。